

# 日本資料から考察する韓国の蚕糸について



東アジア歴史文化研究所 教授

中国・内蒙古大学 客員教授

横 田 素 子

# 1 日本近代資料に見る韓国組紐



# 1885年

『朝鮮紀聞』



正四位山岡鐵舟君題字  
 從四位楠本正隆君序文  
 鈴木信仁編述  
 從四位大鳥圭久君校閱

# 朝鮮紀聞

愛謔社發兌

百五十

直領 武人の私服有官  
 無官の別あり



常帶  
 堂上紅又紫  
 堂下藍

帶 三台七星二十八宿を象ると云一品屏  
 帶二品金帶三品銀帶四品同上五品以  
 下黒角帶

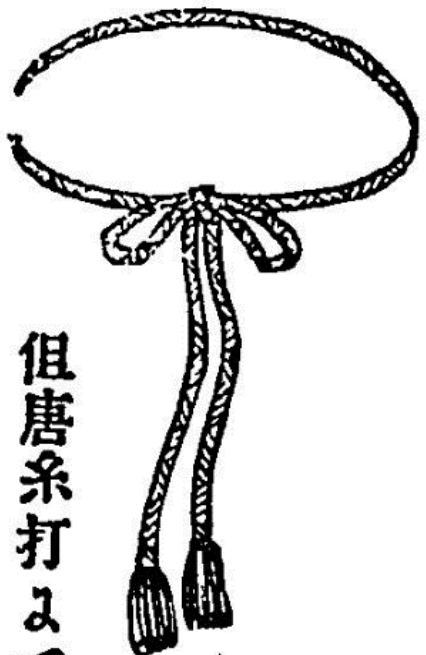
但シ金帶銀帶とも何れも縁り飾を  
 云なり



又一品より三  
 品まで燐青玉  
 四品以下燐白  
 玉燐玉ハ玉臘  
 石の如きもの  
 とす



但唐糸打よて幅二三四五分  
 の内又丸く打ちたるも有



常帶  
 堂上紅又紫  
 堂下藍

但唐糸打よて幅二三四五分  
 の内又丸く打ちたるも有



# 1916年

『東京大正博覧会審査報告』



359  
57



第七部 審査報告

大正  
8  
内交

359  
57

東京大正博覽會 審査報告

三卷



第十一編 朝鮮館出品

報告員 山内英太郎

朝鮮館ノ出品ハ絹織物、絹綿交織物、綿織物、毛綿交織物、麻織物、雜織物、刺繍、組紐、布帛製品、足袋等ニシテ元ツ同地ニ於ケル主要ナル織物産地ヲ舉クレハ左ノ如シ

|      |                   |      |                      |      |          |   |   |   |
|------|-------------------|------|----------------------|------|----------|---|---|---|
| 道    | 府                 | 郡    | 道                    | 府    | 郡        | 道 | 府 | 郡 |
| 京畿道  | 京城、水原、楊平、廣州、驪州、江華 | 忠清南道 | 舒川、扶餘、青陽、保寧          | 京畿道  | 京城、漣川    |   |   |   |
| 忠清北道 | 清州、忠州、沃州          | 全羅北道 | 長水、茂朱、淳昌、南原          | 忠清南道 | 公州       |   |   |   |
| 忠清南道 | 燕岐、大田、禮山          | 全羅南道 | 求禮、順天、潭陽、谷城、麗水、寶城、和順 | 慶尙北道 | 安東、醴泉、尙州 |   |   |   |
| 全羅北道 | 淳昌、南原             | 慶尙北道 | 義城、青松、榮川、善山、安東、慶州    | 平安南道 | 順川、德川、成川 |   |   |   |

|      |                                                        |      |                         |      |             |
|------|--------------------------------------------------------|------|-------------------------|------|-------------|
| 全羅南道 | 木浦、康津、潭陽、咸平、麗水、高興、和順、羅州、靈岩、莞島、光陽                       | 慶尙南道 | 陝川、居昌、咸陽、咸安、宜寧          | 平安北道 | 寧邊、泰川       |
| 慶尙北道 | 善山、星州、大邱、義城、金泉、軍威、安東、慶州、尙州、清道、醴泉                       | 平安南道 | 寧遠、孟山、陽德                | 江原道  | 金化、江陵、鐵原、春川 |
| 慶尙南道 | 晉州、陝川、統營、咸安                                            | 平安北道 | 江界、楚山、義州、碧潼、熙川、渭原       | 咸鏡南道 | 永興、北青       |
| 黃海道  | 延白、平山、載寧、松禾、安岳、鳳山、信川、殷栗、黃州                             | 江原道  | 驪蹄、三陟、襄陽、淮陽、通川、三水、成興、端川 |      |             |
| 平安南道 | 平壤、龍岡、平原、安州、鎮南浦、江西、成川、江東、价川、順川、寧邊、泰川、碧潼、義州、龍川、定州、昌城、楚山 | 咸鏡北道 | 會寧、慶源、明川、吉州、茂山、鍾城、鏡城    |      |             |

絹織物出品ノ主ナルモノハ明軸ト稱スル平絹類ニシテ平安、江原兩道ノ産最モ名アリ是等ハ皆織上ケタル後灰汁ヲ以テ精練シ男女ノ衣料ニ供ス一箇年ノ産額五十萬圓許ナリト云フ本品ハ往々細太ノ原絲ヲ兼用スル爲メ布面ニ筋ヲ現シタルモノ多ク外觀甚タ宜シカラサルモノアリ且ツ精練法舊套ヲ脱セサルカ爲メ純白ナラサルモノ少シトセス之等ハ今一層ノ研究ヲ要ス其他官紗中ニハ優品ナキニアラサリシモ絹縮緬ノ如キハ試驗時代トモ云フヘキモノニシテ評スルニ足ラス

綿織物ハ自國産ノ綿花ヨリ紡キタルモノ又ハ輸入綿絲ヲ以テ製織シタルモノアリ近年「バツタン」織機ヲ用ユルモノ漸ク増加セシモ尙小規模ノ工場ヲ經營スルモノナキニ非ラス其ノ織物ノ産地ハ慶尙南北道、全羅南道ヲ主タルモノトシ一箇年ノ産額二百餘萬圓ニ上ルト云フ然レトモ其ノ製品ノ大部分ハ組織、意匠等ニ見ルヘキモノ少ナク商品トシテノ價值ナキモノアリ今後一層ノ奮勵ヲ爲スヲ要ス麻織物ハ朝鮮ノ主要ナル物産ナルモ漂白法極メテ幼稚ナルモノナリ然レトモ其ノ原料ノ豊富ナルヲ以テ自今發展ノ餘地十分ナラン宜シク適當ノ方法ニ依リ細地ノ織物ヲ製シ内地需用ノ外輸出又ハ移出ノ道ヲ講スヘシ

其他毛綿交織、絹綿交織物數點ノ出品アリタレトモ評スヘキモノナシ要スルニ朝鮮ニ於ケル織物類ハ支那其他諸外國ヨリ輸入シ又ハ本邦ヨリ移入スルモノ年々其ノ額少ナカラサルヲ以テ自今彼地ノ機業ヲ發達セシメ輸入ノ防遏ヲ計ルハ刻下ノ急務トス總督府亦茲ニ留意シ主要産地ニ機業教師ヲ配置シテ實地指導ノ任ニ當ラシメ或ハ工業傳習所ニ染織科ヲ設ケテ實業ノ練習ヲ爲サシメ或ハ韓國合併ノ際下賜サレタル恩賜金利子ノ一部ヲ以テ各地ニ恩賜財團機業傳習所ヲ設クル等獎勵ニ關スル設備至ラサルナキ現狀ヨリ見レハ將來ニ於テ完全ナル染織業ノ發達スヘキハ疑ヲ容レサル所ナリ

刺繍ハ唯一人ノ出品アリタルノミヲ組紐 一會社ノ出品アリテ打方等新奇ノモノナシト雖モ彼地ノ需用ニハ差支ナキモノナラン

「バテン、レース」モ亦僅少ノ出品アリ格別評スル程ノモノニハアラサレトモ彼地婦女子ノ爲メニハ恰適ノ事業ナリ唯移入税ノ關係上著シキ發展ナシト云フハ惜ムヘシ足袋ハ數十點ノ出品アリタレトモ皆本邦人ノ製品ニシテ在留本邦人ノ需要ヲ充スヘキモノナリ孰レモ普通品ニシテ評スルニ足ルモノナシ



## 2 日本近代資料に見る韓国の蚕糸





# 1910年

『朝鮮風俗画譜』



273  
508

朝鮮風俗畫譜全

伯爵大隈重信閣下序文  
伯爵林 董閣下題字  
前韓國內務大臣朴齊純君序文

前韓國農商部大臣趙秉世題字  
前韓國領事館長藤增雅君序文  
恥堂 大田武和君跋

朝鮮風俗畫譜

中村金城編纂

二書房發行





蠶 養



紡 車







桑採



績絲綉



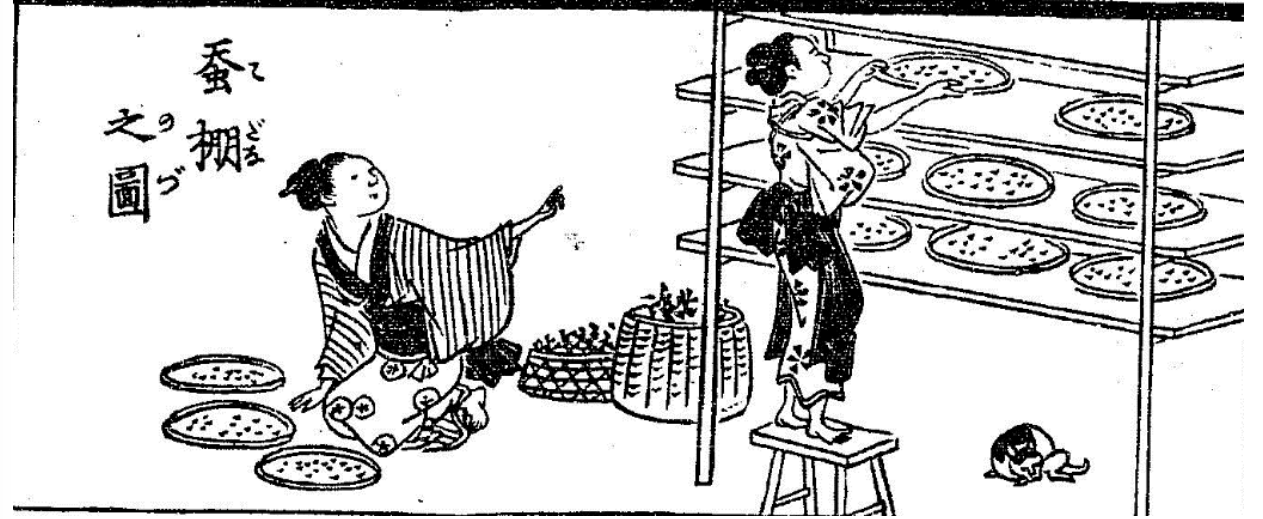


# 従来の蚕糸の方法 韓日比較





蠶 養



蚕  
棚  
之  
圖





續 紡 絲 綢







桑採



桑葉を  
摘採  
る  
圖



# 1919年

『朝鮮興業株式会社 既往十五年事業概説』





# 既往十五年事業概説

東京市日本橋區蠣殻町一丁目三番地

朝鮮興業株式會社

## 養蠶

養蠶ハ農家ノ副業トシテ其ノ有益ナルコト第一指ニ屈スベキモノナルノミナラズ我邦ニ於テ生糸ハ輸出品ノ最大產物タリ之ヲ朝鮮ニ見ルニ鮮人間ニ於テハ從來蠶業ノ如キハ拋棄シテ顧ミラザルノ狀態ニアリタリ然レモ實地ヲ考察スルニ地味ハ至ル所桑樹ノ栽培ニ適シ且ツ南鮮方面ハ氣候温暖中和ノ境ヲ逸セザルノミナラズ大氣ノ乾燥セルハ頗ル養蠶ニ好適セリ故ニ若シ適當ナル方法ヲ施シ養蠶ガ農家ノ副業トシテ最も有利ナルコトヲ鮮人ニ知ラシメ之ヲ一般ニ普及スルコトヲ得バ

廿一

個人ノ利益ハ勿論亦國家富力ノ増進ニ資スルところ尠カラザルベキナリ

廿二

於是當會社ハ鮮人ヲシテ蠶業上ノ智識ヲ得セシムルヲ主眼トシ嚮ニ三浪津管理所ヲシテ養蠶ヲ營マシムルノ計畫ヲ立テ明治三十九年始メテ内地ヨリ苗樹ヲ移入シテ桑園ヲ栽成シ翌年蠶室ヲ建築シテ所長自ラ飼育ノ任ニ當リ或ハ鮮人ヲシテ時ニ觀覽セシメ或ハ希望者ヲ誘致シテ飼育上ノ實地習得ヲナサシメ他而又製糸ヲ自ラ爲シテ其結果ヲ示ス等一意鮮人ニ對シ養蠶ノ利益ヲ知ラシムルト共ニ之レニ趣味ヲ生セシムルニ努メタリ如斯計畫ハ韓國政府ノ知ル所トナリ特ニ練習生ノ依託ヲ受ケ幾何ナラズシテ十數人ノ修業者ヲ出セリ而シテ全地方ノ風土ハ豫想ノ如ク頗ル飼育ニ適シ收穫ノ成績良好ニシテ一般ニ其範ヲ示スコトヲ得ルニ至リタルヲ以テ最も斯業ニ熟達セル内地人ノ希望ヲ容レ桑園蠶室其他一切ノ設備ヲ舉ゲテ之ヲ貸與シ當會社ノ監督ノ下ニ其趣旨ヲ服膺シテ熱心ニ經營セシメ嚮ニ三浪津私立蠶業傳習所トシテ大正二年ヨリハ地方費ノ補助ヲ給セラレ鮮人傳習生ヲ出スコト數十名ニ及ビ最も發達進步ノ見ルヘキモノアリテ今ヤ此地方ハ桑苗ノ本場ト稱セラレ同時ニ無病毒ノ蠶種製造地トシテ矚目セラル、ニ至レリ



近年各道ノ注文ニ應ジテ移出シタル同地方ノ桑苗樹ノ生産高并ニ道廳ニ買上ゲラレタル蠶種製造高ヲ示セバ左ノ如シ

桑苗樹ノ生産高

|       |            |              |
|-------|------------|--------------|
| 大正二年度 | 百四拾五萬本     | 價格金壹萬七千四百圓   |
| 全三年度  | 百八拾萬本      | 價格金貳萬千七百四拾圓  |
| 全四年度  | 貳百參拾萬本     | 價格金貳萬八千七百五拾圓 |
| 全五年度  | 貳百萬本       | 價格金貳萬貳千圓     |
| 全六年度  | 百八拾萬本      | 價格金貳萬七千圓     |
| 全七年度  | 百八拾萬本      | 價格金貳萬五千貳百圓   |
| 全八年度  | 百五拾萬本 (見込) | 價格金參萬圓見常     |
| 蠶種製造高 |            |              |
| 大正二年度 | 壹千七拾六枚     | 價格金參百九拾四圓    |
| 全三年度  | 買上ナシ       |              |
| 全四年度  | 壹千六百七拾參枚   | 價格金六百貳拾五圓    |

|       |          |           |
|-------|----------|-----------|
| 全五年度  | 壹千七百枚    | 價格金五百九拾五圓 |
| 大正六年度 | 壹千枚      | 價格金四百圓    |
| 全七年度  | 壹千六百枚    | 價格金千九百六拾圓 |
| 全八年度  | 參千枚 (見込) | 價格金千八百圓見常 |

而カモ苗種共ニ最モ優良ナル爲メ何レモ需要者ニ多大ノ好評ヲ以テ迎ヘラレ年ト共ニ豫約注文ノ益々多キヲ致スノ盛況ナリ

尋テ木浦管理所ニ於テモ明治三十九年桑園ヲ羅州郡伏岩面ニ設ケ蠶室ヲ造リ三浪津管理所ニ倣ヒテ之ヲ經營シ好成績ヲ收ムルコトヲ得タリ而シテ養蠶主任者ノ老來會社ヲ辭スルニ際シ其希望ニ依リ亦桑園其他一切ノ設備ヲ貸付シ現ニ之ヲ營マシメツ、アリ

明治四十三年大田管理所ニ於テモ亦柳等川面ニ桑園蠶室ヲ構成シ毎歲好果ヲ收メ現ニ同所ニ於テ内地人ヲシテ從事セシメツ、アリ

如此三管理所ニ於テ經營セル蠶業ノ設備中創設ノ際桑園ノ栽成ニ要シタル苗樹ノミニテモ約四十七萬本ニ達シ苗樹代金并各蠶室ノ建築蠶具ノ購入及ビ之レガ經費

等ノ合計投資金額ハ實ニ參萬餘圓ヲ算シタリ

要スルニ如上ノ計畫ハ決シテ當會社ガ利己ヲ目的トセルニアラズ寧ろ多少ノ損失ヲ豫期シ經營シタルモノニシテ畢竟朝鮮ニ於ケル蠶業ノ指導開發ノ爲メ聊カ貢獻セント欲シタル微衷ニ外ナラズ幸ヒニ之レカ因ヲナシ各地方一般鮮人間ニ蠶桑ノ業ヲ傳ヘテ斯業ノ利益ヲ知得セシムルト共ニ又其ノ趣味ヲ理會セシメ之レガ飼育ヲ試ムルモノ漸ク多キヲ致スニ至レリ

固ヨリ母國蠶業ノ隆昌地ニ比スレバ敢テ誇ルニ足ラサルベシト雖モ從來殆ンド蠶業ノ閑却セラレテ其智識ノ亦淺薄ナリシ該地方ニ於テ此急速ナル進歩ヲナシ益々發展ノ機運ニ向ヒ朝鮮各道ニ亘リテ斯業ノ振興誘致ニ資スルニ至リタルコト蓋シ努力ノ効空シカラザリシヲ想見スルト共ニ之レガ率先唱導者タリシ當會社ノ眞ニ欣快ヲ禁スル能ハザル所ナリ

# 1926年

『鮮満及び北支那之産業』



藤本實也 著

# 鮮滿及北支那之産業

東京 大阪 屋號 發行

## 鮮滿及北支那の産業 目次

### 朝鮮

釜山 ..... 一

上陸第一歩の印象——哀れなる白衣の鮮人よ——釜山の開港貿易

大邱 ..... 四

渡鮮發端の失敗——達弗城趾——孔子廟——桐華寺——市街の繁榮

大邱の三製絲工場 ..... 六

山十組——片倉製絲紡績株式會社——朝鮮生絲株式會社——經營上の苦心——娘の生血——繭質と産額

慶州 ..... 九

太宗武烈王陵——月城——雁鴨池——芬皇寺九層樓——朝鮮第一の巨鐘——佛國寺——石窟庵——五陵——蘿井——新羅の元祖赫居世——鷄林の國號由來——脫解王と瓠公

大田及其沿線 ..... 一四

群山と木浦——公州——松崎大尉の忠魂碑——稷山金鑛——沿道の風光——三寒四温——閑人の長煙管——放牧の牛——朝鮮鳥

水原 ..... 一八

華虹門——訪花隨柳亭——八達門——華寄殿——文廟——慘風悲雨の古蹟

農村の疲弊 ..... 二〇



勸業模範場 .....二五

滿蒙に溢れ出る農民の落伍者——自給自足主義の農法——西湖——六支場  
——美しい豚——奇麗なる鶏舎——陸地棉——各農產品の標本

蠶業試驗所 .....二六

女子蠶業講習所——野生の桑——寺内總督時代の極端なる獎勵——三眠蠶

京城 .....二〇

南大門後向の戦法——總監の抱負——宋秉畯と朝鮮の蠶業——百濟王國——  
——南山産業展覽會

恩賜授産場と朝鮮製絲會社 .....二四

朝鮮生絲輸出の矯矢——温突——純鮮人の製絲場——恩賜授産機業場——  
新羅織——中央試驗場——舊東亞煙草會社——バゴタ公園——朝鮮料理

朝鮮を振返りて .....二七

一、戸數人口 .....二六

二、交通 .....二九

鐵道——道路——電氣鐵道

三、行政組織 .....二〇

總督府行政組織——地方政治機關

四、教育 .....二六

八、農業 .....二七

耕地面積——未墾地——米——大豆——其他穀菽類——果實——蔬菜——  
棉花——甜菜——麥蠶——畜産



## 大邱の三製絲工場

山十組大邱製絲場は大正七年の創立である。本社は信州諏訪にありて全國に多くの分工場を有して本邦有数の製絲家である。片倉組は信州諏訪を本部として大正十年五千二百七十五萬圓を擁して株式組織となつた。各地に三十ヶ所の工場を有し釜數一萬八千、年製絲額四萬八千俵（一俵は百斤）紡績絹絲九十八萬封度に達する。本邦否世界第一の大製絲工場である。此地に工場を起したのは大正八年である。朝鮮生絲株式會社は同じく八年の創立で故信州製絲家尾澤琢郎氏と故賀田金三郎氏とが主となつて創立したものである。

三工場とも信州人の經營であるから器械、技術、經營方法等萬事信州式に則つて居る。製品及營業狀態も大體似據つたもので工場の規模は山十組四百六十釜、片倉組二百釜、朝鮮生絲會社三百釜で何れも工女は朝鮮人である。工女の異つて居る丈で現業技術員、工場管理者等大部分信州人であるから外觀は信州の工場を見る様であるが經營上の苦心は相當に多い。今日漸く目鼻が付

いて前途の光明も認めらるゝが、最初創設の際には殆ど無謀の舉であつた様にあらゆる困難に際會したとの三工場長が口を揃へての苦心談は同情に價する。先づ何よりも第一に骨が折れたのは工女募集である。募集員を出しても中々人が得られない。漸く連れて來ても居續かないで間もなく逃げ出す。併し段々と賃金のよいので心が動く、普通朝鮮の大人の男が終日働いて五十錢や一圓であるのに纖弱い女子が熟練すれば一圓にもなると云ふのだから之を聞いたものは中々信じない、多分賃金を餌に乙女を釣つて遠方に賣るのでは無からうかと疑つた。それは無理もないことである。朝鮮人を笑はれない、本邦製絲場の嚆矢であつた上州富岡製絲場が明治六年官設された時工女を全國から募つた。教師は外人であつたが爲めに時々葡萄酒を飲むのを見てあれば若い娘の生血らしい、あんな處へ可愛い娘を出すのは危険だと恐れたものもあつた。朝鮮の少女は何と言つても早婚が缺點で來ると間もなく結婚と言つて出で行く、十三四から結婚するものもある。教習すれば手の先の仕事は相當に器用になるが、何分無教育のものが多いので教へるのに骨が折れる。是等約千人の多數の内で小學校を卒業したものは僅に數ふる程である。多くは寄宿して居るので家へ歸へると中々出て來ない、寢食、大小用の世話までしてやらねばならぬ。朝鮮の婦女子は昔から勞働又は出稼を爲さない風習であるから、工女の傭入れは容易ならぬ困難であつた。非常な募集費を要した。それで漸く連れて來ても永續勤務の觀念が乏しい。絶えず出入が頻繁であるから製絲業の如く手工の技術を要するゝと多大な職工は大部分は養成に終つて折角役に立つ間は少い。其上最初は産繭額も少く原料蒐集に經費を要することが多い、而も繭質は粗末で類節が多かつたり糸量が少ない等種々の缺點があつたが、爾來日進月歩の勢で諸種の缺點が減少して且産繭額も増進した。大正十三年には約二十四萬四千石、即ち併合當時の一萬四千餘石に比すれば實に十六倍と言ふ増方である。此内約三割六分は自家用として鮮内に消化せられ六割四分は市場に販賣せられるが其内で三分の一は鮮内製絲工場に三分の二は内地から來て買つて歸へる。

前述べた朝鮮繭の缺點は主として上簇法が良くなかつたのと、乾燥法に缺點が多かつたが總督府で指導して改良に努めた。又繭は山間小部落では賣ることも出来なければ買ふ方も厄介であるから、總督府の方針の下に各道郡に於て繭共同販賣の斡旋をして兩者の間に立つて公平に圓滑に取引せしめることになつて居る。又一方品種の雜駁を避けて蠶種の統一を計つたから内地で見る様な復雜でなく餘程統一して來た。従つて内地から目を付けて買ひに來るのも著しくなつた。從來朝鮮關稅で從價五分の輸移出稅は大正元年から撤廢され、又内地稅關で課せらるゝ從價三割の移入稅も大正七年五月から止められ、繭や生絲の内地移出が有利となつた。鐵道運賃も大正五年から鐵道大貨物の取扱に依る乾繭運賃へは二割引生繭及繭容器は半減となつた。併し朝鮮の繭に見當を付けて無謀に澤山内地人が乗込んで競争して内地へ高い運賃をかけて持ちかへり、在鮮製絲家は品不足を食つて内地から繭の供給を仰ぐ様な倒支逆行をやつて内鮮兩製絲家が手傷を負ふ様なことがあつてはつまらない。現に先年は内地人の乗込みが多く旅費を使つて思ふ様に買へなかつたり、結極日本全國中最高の繭相場を顯出したと言ふ珍現象もあつた。餘程此點は慎重に考へなければならぬ。



## 蠶業試験所

蠶業試験所長の宮原忠正氏が來られ伴はれて試験所に行つて詳しい案内と説明を受けた。本所は勸業模範場の一部である。原蠶種の製造、配附、及び蠶業に關する試験、調査を行つて居る。朝鮮蠶業開發の策源地である。宮原氏は明治三十九年勸業模範場設立と共に赴任せられ、多年の貢獻空しからず、朝鮮蠶業の今日あるは同氏の努力に負ふ所尠からざるものがある。同氏に就いて朝鮮蠶業の現状を聞いて大いに得る所があつた。

女子蠶業講習所は明治三十八年創立せられたる舊大韓婦人會養蠶講習所に胚胎し、四十三年官立となり、四十四年模範所附屬となつて大正三年龍山から蠶業試験所と共に此水原に移つた。朝鮮女子に蠶業を講習する所で十ヶ月間學理及實地を教へる。今日は卒業人員三百六十四人にして年々二十人前後を講習し是等卒業生の内昌德宮養蠶婦二人、養蠶傳習所教師四十六人、稚蠶共同飼育教師五十二人、郡技術員二十九人、上級學校在學中八人、家事養蠶に従事し其他の職業に在るもの二百六人、死亡二十一人を算へ分けられてある、昨十四年は實に十六回目の卒業生を出して朝鮮蠶業發達の爲めに多大の貢獻をして居る。製絲場を廻つて見ると今しも二三の女生が座繰製絲をやつて居る。

朝鮮の桑園は最近の發達である。從來は山桑である。山間に入ると野生の桑の太木が林を爲して居る所がある。併しながら養蠶が盛になるに連れ次第に不足を告げて今日では山桑に據つては居られないで盛に栽培して居る。殊に寺内總督時代には極端の獎勵を行つた。例の憲兵政治で民家に桑苗を下附して植付けしめた。植ゑる地面がないと云ふものには地主と協約を作つて保護して植付ける。中には苗木を貰つて薪にしたりする連中もあるので憲兵が廻つて見付け次第罰する。肥料に豆糟を下附すると皆食つて仕舞ふと云ふ程度であるから、永遠の考へよりも其日の事ばかりしか分らぬ。只喃喃説いて廻る丈では無駄である。

朝鮮の在來蠶種は三眠蠶であつて普通四眠で繭を造るのが三眠で結繭するから食桑日数が少ない。繭が貧弱で絲量が少ない。是も内地の蠶種を移して改良した。憲兵が通つて三眠蠶を飼つて居るものは沒收して良種に代へしめると云ふ遣り方である。

朝鮮の温突は蠶を飼ふに好都合である。殊に朝鮮は内地より雨量が尠いので空氣が乾燥する。

加之日照時數が多いので春蠶には好適當であるから獎勵すれば將來餘程發達の見込がある。彼の大正八年の萬歲騒から極端の獎勵を廢して任意にして以來、産繭額が増加しない。是に驚いて近來總督府に於て種々の獎勵法を研究して居る。

國境を越えて滿洲に移住して山桑を取つて養蠶をする朝鮮人も相當に殖えたさうである。



## 恩賜授産場と朝鮮製絲會社

恩賜授産場の馬車が迎に來たので展覽會場を辭して同場に馳せた。本場は併合の際恩賜金の内京城府に配付せられたる金額八十七萬一千七百圓の利子より生ずる資金の一部を以て京畿道知事管理の下に經營する製絲場である。初めは養蠶や座繰製絲の小規模であつたが大正四年現位置の杏村洞に於て宋秉駿經營の大成蠶絲部を買收して家屋の増改築を行つて機械製絲工場とした。製品は輸出として良質のものを得たが従來は朝鮮から内地に移出するには三割の關税があつたので保税倉庫を利用して横濱三井物産會社支店を経て米國に試買した。是が朝鮮生絲を外國へ輸出した嚆矢である。尙朝鮮に於ける製絲場の鼻祖は本場の前身前記宋秉駿氏が信州小口組と協同して明治四十三年創立した大成蠶絲部である。

本場は道廳知事が場長を努め、商議員に、朴泳孝、李完用、宋秉駿、文泳綺等の貴族等十名を置いて道技手が主幹となつて居る。

主任星野友治氏の案内にて工場を見た。規模は九十六釜で揚返機四十二窓で輸出向生絲千五百貫餘、地遣向生絲百六十八貫を製し工女は全部朝鮮人である。

こゝで例の温突を造つて居るのを見たが、石で溝を造つて粘土で包んだ煙道が廻つて最後に室外の煙突から出る。焚口も室外で、こゝで薪を焚いて鍋釜をかけて炊飯や煮物をする此餘焰を利用して室内を暖める案外氣のきいた裝置である。

三井物産京城支店の社員兩氏が迎へに來られた。同社の自動車に移つて一同は同支店に至り種々經濟事情を聞いた、暫らくすると朝鮮製絲株式會社の自動車が迎へに來た。同社の南廷漢氏が案内にて一同はこゝを辭して東大門外の同社に行つた。専務取締役劉詮氏、現業柳鍾秀氏役員諸氏が出迎へ懇切に案内した。

本社は大正八年の設立で内地人は一人も居ないで純朝鮮人ばかりである。社長は元宮内大臣閔丙奭子外十四名の重役を有し釜蓋二百釜技術員は内地に留學した人々である。營業狀態は頗る佳

良で前途有望に見受けられた。第一銀行支店の融通を受け例の金利の高い朝鮮で内地人も同様の信用を以て第一銀行を利用するに至つたのは本社の大なる成功である。抑も本社が斯くまで據頭し來つたのは、先年横濱澁澤商店の支配人桃井可雄氏が旅行して京城に遊び此工場を見た時重役と肝膽相照し、資金の融通を諾し製品の横濱入荷を約し海外輸出を計りたる爲め、益々發展し第一銀行を紹介するに至つたのである。

私は隈なく工場の隅々まで案内された。寄宿舎は例の温突式であつて食堂、浴室其他の設備も行届いて居る。味噌槽、醬油槽、漬物槽まで見せられた。朝鮮の漬物の中には頗る凝つたものがある。白菜等の中へ種々の物を交ぜて唐辛で漬けたのである。非常に旨いものである。

大邱に於ける朝鮮人の工場では工女が頻繁に出代るのが缺點であるが、こゝの工女はそれが少い。工女の申込も多過ぎて困る位であるから採用の際は保證金として七圓づゝ取つて置く。入つて間もなく逃出す様なものを妨ぐ方法だが、是等は餘り内地では見られない現象である。畢竟役員、従業員全部が鮮人で従つて工女の使用法も骨が分つて居るからであらう。鮮人普通の賃金のことから考へると製絲工女は甚だ割がよい。昔からこんな仕事は無いと父兄等は大喜びで製絲工



場を讃仰して居る。工女はいくらでも得られて賃金は安い、此上原料繭の増額に伴つて製絲業は發達する計りである。此工場も漸次擴張の方針である。最近内地製絲で大立物たる郡是製絲會社は太田に鐘紡は京城へ新に工場を起すことになった。

恩賜授産製絲場の姉妹工場で機業場がある、こゝも見たが二十餘臺の機織器を据付けて各種の織物を織つて居る。木綿、麻、絹等種々試験的講習的部門を分つて熱心に梭を走らせて居る。種々の製品見本を貰つたが漸次進境が見える様である。

麻代用の木綿で新羅織と云ふのがある。ゼラチンとフォルマリンと明礬とから造つた糊を施して製せらるゝのである。麻布の需要多い朝鮮では此種の廉い代用品は歓迎さるゝとの事である。

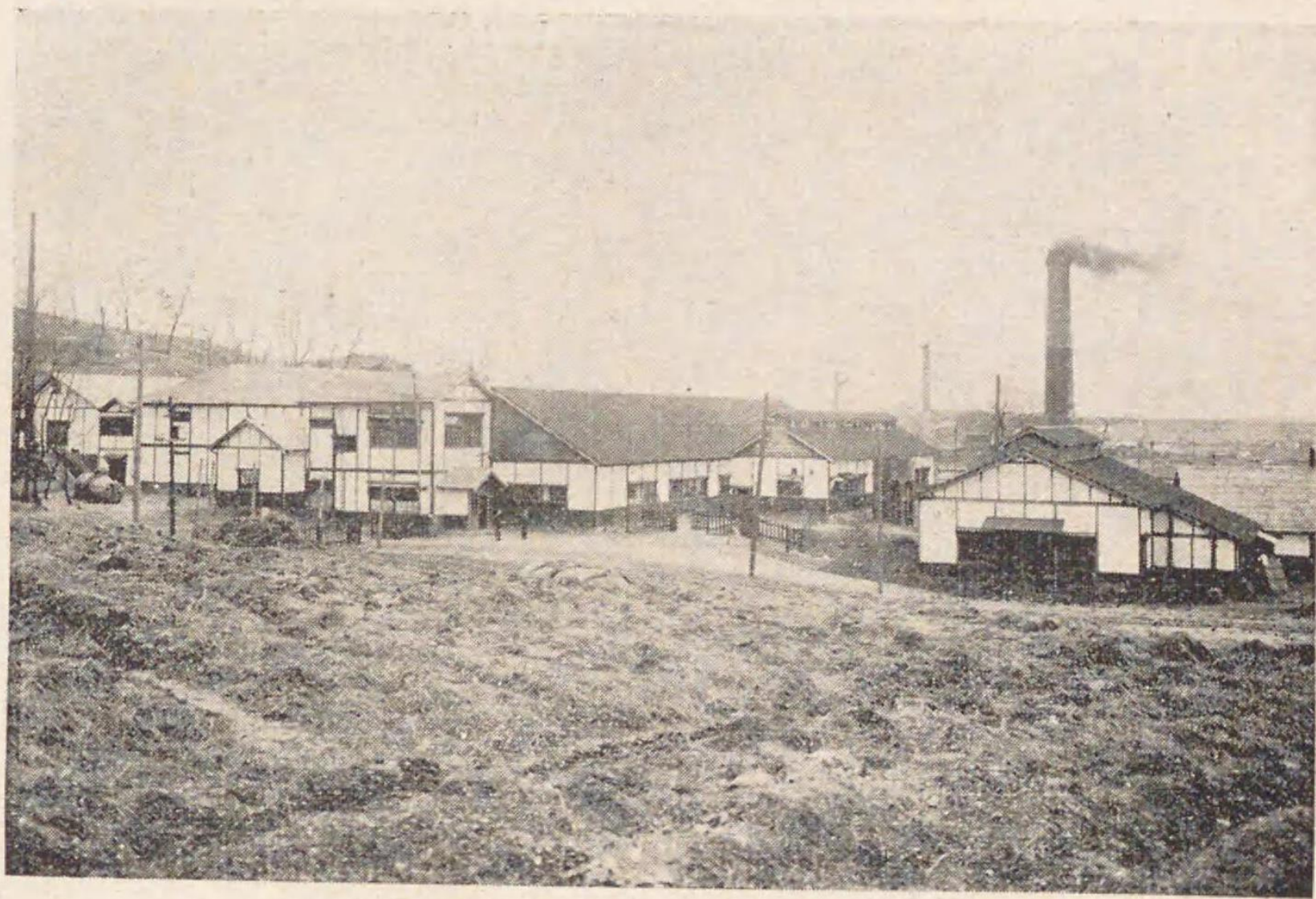
中央試験場は大正元年の創立で分析、應用化學、染織蠶業、醸造及衛生の六部門に分つて諸種の調査試験に従事して朝鮮工業の發達上多大の貢獻を爲しつゝある。

舊東亞煙草株式會社は朝鮮を本據として、大連、營口、上海に分工場を設け手廣く東洋に幅を利かせて居たが大正十年七月から煙草專賣となつて朝鮮の各工場は官營に徴收された。朝鮮人は非常に煙草を好むので消費額は著しい。當分の内荒刻煙草の民營を認め各自家用煙草の耕作を許した。加之多くの鮮人は手刻の全葉煙草を常用するので葉煙草の拂下も行ふ。

夕刻招待されたる茶亭に赴く、途中バゴタ公園を散策して文祿役に加藤清正が持歸らんとして果さざりし大理石の塔を見た。高さ四丈十三層、每層佛像が刻んで凝つた珍品である。最上の一段を清正に取下されたものであるが其後再上げることが出来ないでそのまゝとなつて居る。國寶的の逸品である。それから途中に見たる普信閣鐘樓の大鐘は珍らしいものである。高さ一丈周圍二丈餘もある四百五十餘年前に作られたものである。傳説に此釣鐘を鑄する爲めに妙齡の女子を熔爐の中に溶かし入れたと云はるゝ。

茶亭の歡迎會に臨んで先づ心持のよいのは温突である。朝鮮式料理は珍味の配合が複雑である。一箸毎に説明を聞かねば料理法は基より原料も分らない。總督府の植村、最所兩君、朝鮮製絲株式會社の劉專務、南重役以下現業員諸氏、恩賜授産場星野氏以下場員、三井物産社員諸氏及舊總督府に在つて今は獨力實業を營む三田伊三郎氏、住友三四郎氏等杯多勢の歡迎を受けた。劉專務の挨拶があつて予は之に酬ひて好意を謝し朝鮮蠶業の前途頗る有望なる所以を述べた。諸君の多藝が一顧濟んで朝鮮の歌を聞いた。杯盤を斡旋する妓生の朝鮮歌や鴨綠江節は旨いものであつた。妓生の中に一人彩管を振つて繪を書いて呉れた。中々旨いのに驚いた。

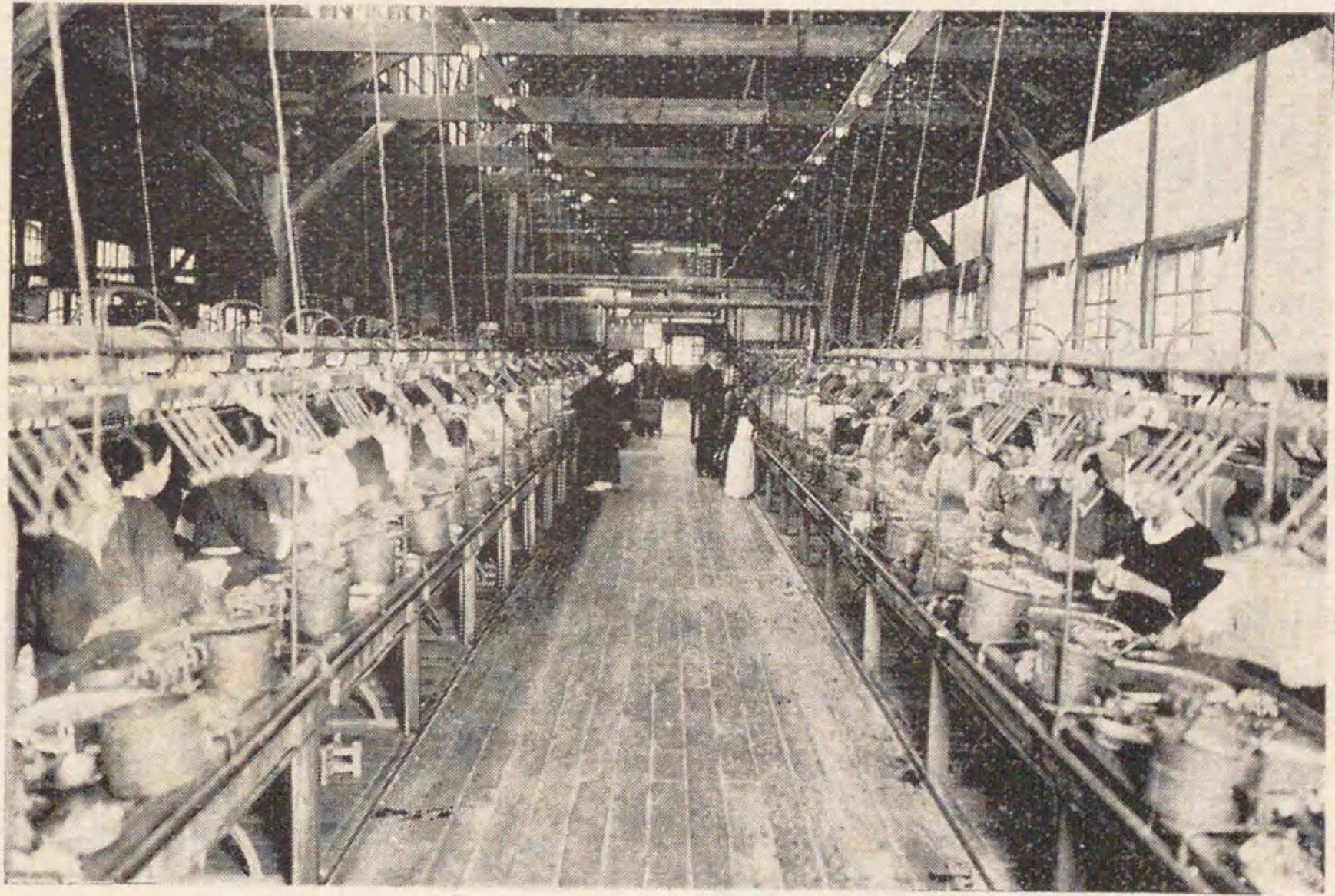




朝鮮製絲株式會社全景







朝鮮製絲株式會社繅絲場





る主要畑作物であるが一般此地方の常食であるから、需要不足で百萬石、(價額一千餘萬圓)を輸入に仰ぐに至る。果實に在りては栗、柿、桃、苹果、梨、葡萄、又蔬菜にありては白菜、蘿蔔、甘瓜、南瓜、水芹、蒜等である。近來内地人の移住増加に伴ひ、胡瓜、茄子、牛蒡、胡蘿蔔、セリナ、ミツバ、インゲン、チンヤ、シユンヤク、蕎麥、葱、甘藍、西洋甜瓜等の栽培増加しつつある。

棉花は殆ど各地で栽培される。就中南部地方が盛である。木棉の需要が多いので、内地より紡績糸を移入し棉花を内地に向つて供給する方針とし、明治三十九年以來は政府保護の下に絲量繰綿歩合歩共に多く、纖維細長で紡績原料に適したる米國種陸地棉の栽培を奨励して大いに成績を擧ぐるに至つた。併合當時即ち明治四十三年に陸地棉作付、反別千二百六十六町歩栽培戸數二萬九百餘戸であつたものが、大正十一年に至つては反別十萬四千二十五町歩、栽培戸數五十七萬四百七十戸の多きに達した。一方に又陸地棉に適せない地方は在來棉を奨励し、是又大正十二年には作付面積四萬九千二百十九町歩栽培戸數八十六萬五千九百餘戸に至つた。

甜菜は明治三十九年來勸業模範場並道種苗場にて、試験の結果西鮮地方の風土に適することを認められ、大正八年大日本製糖會社は平壤に工場を起し、同十二年には平安南道黃海兩道で八百

二十五町歩に甜菜を栽培した。

養蠶は朝鮮に於て最も有望なる未來を有して居る。從來は三眠蠶であつたが、明治三十九年以來桑樹の栽培と共に内地品種を移入して、改良を加へ引續き品種の改良を行ひ、當今優良な繭を産するに至つた。養蠶家戸數三十餘萬戸、繭産額二十五萬石に達し將來百萬石に増加する計劃を立て、盛に奨励して居る。

畜産も亦朝鮮に於て極めて有望な事業である。牛は農耕運搬用を兼ね又肉用として適し到る處農家に飼養する。肥大強健で且つ性質温順であるから、小童でさへ能く之を牧することが出来る。價格が廉いので内地、露領沿海州、支那方面へ移輸出する。大正十二年の生牛の移輸出額四萬九千餘頭價格三百六十餘萬圓に達し、牛皮、牛骨、牛脂等の移輸出額二百四十餘萬圓に達す。凡牝牛一頭百圓牝牛七八十圓位である。乳用牛も外國種を飼養して漸次盛になつて來た。朝鮮内の牛は凡百五十萬頭位飼育されて居る。豚は善く農家に飼養せられ其數牛に次いで多い。凡九十六七萬頭位飼育されて居る。在來種は體軀矮少であるが生産が多い。一頭の價十圓内外である。近來改良種として外國種が入つて來た。一割位外國種となつた。馬は體軀矮少であるが、比較的力



# 1941年

『片倉製糸紡績株式会社 創立二十年紀念写真帖』





片倉製絲紡績株式會社  
創立二十年紀念寫真帖



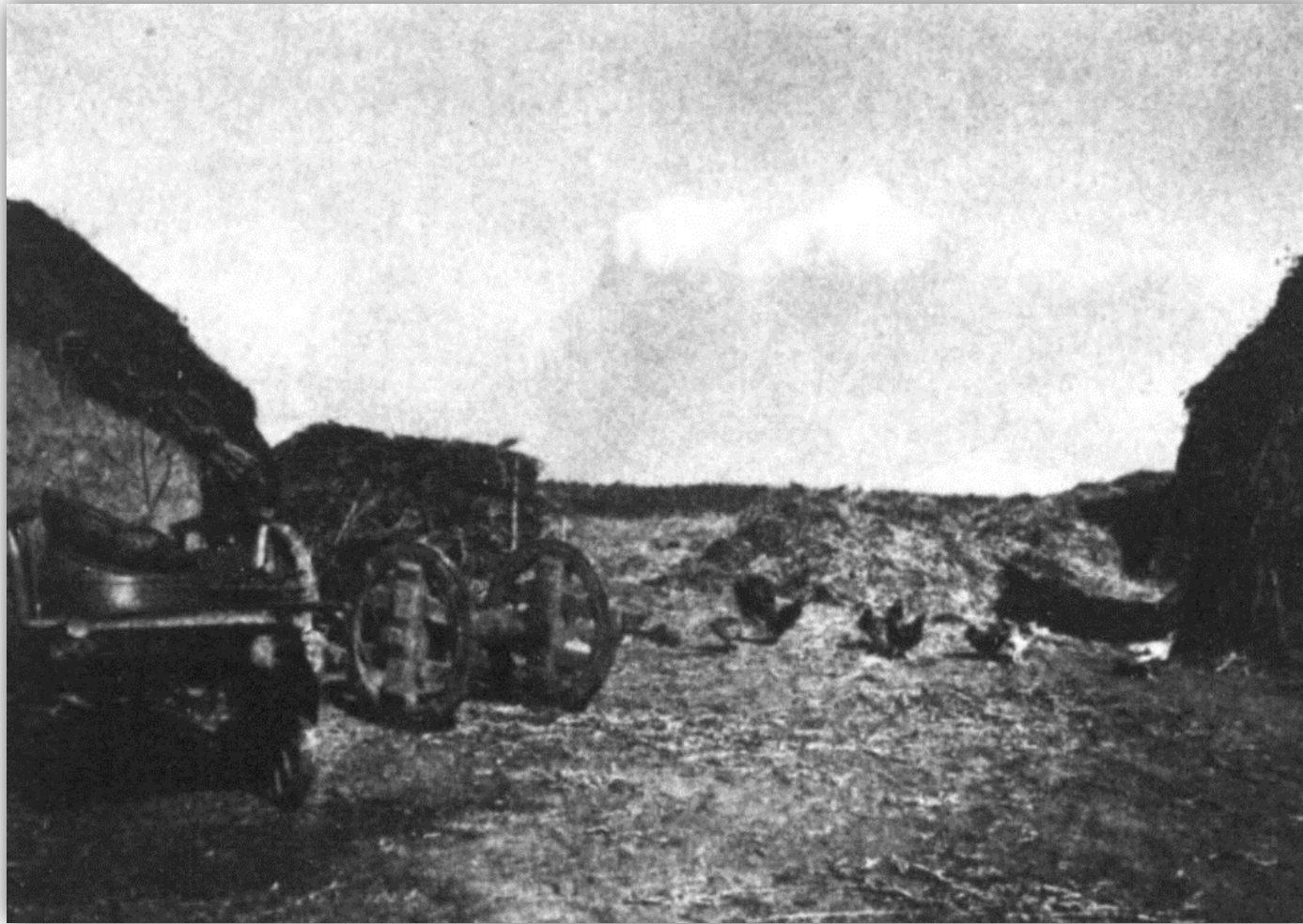
目次

|            |    |     |
|------------|----|-----|
| 紀元二千六百年式典  | 寫眞 | 二葉  |
| 我社の光榮      | 寫眞 | 二葉  |
| 序文         |    |     |
| 本社         | 寫眞 | 一葉  |
| 社旗         | 寫眞 | 一葉  |
| 社歌         | 寫眞 | 一葉  |
| 創立二十年紀念式   | 寫眞 | 二葉  |
| 片倉組時代      | 寫眞 | 一九葉 |
| 片倉製絲紡績株式會社 |    |     |
| 役員         | 寫眞 | 二七葉 |
| 本社職制       | 寫眞 | 一一葉 |
| 出張所        | 寫眞 | 九葉  |
| 試驗所        | 寫眞 | 七葉  |

我社の事業

|         |    |     |
|---------|----|-----|
| 蠶種製造及養蠶 | 寫眞 | 一七葉 |
| 生絲製造及検査 | 寫眞 | 二五葉 |
| 我社の製絲工場 |    |     |
| 信州地方    | 寫眞 | 二三葉 |
| 關東地方    | 寫眞 | 二一葉 |
| 東北地方    | 寫眞 | 二七葉 |
| 中部近畿地方  | 寫眞 | 一三葉 |
| 中國四國地方  | 寫眞 | 二五葉 |
| 九州地方    | 寫眞 | 二八葉 |
| 朝鮮      | 寫眞 | 九葉  |
| 蠶種製造所   | 寫眞 | 一八葉 |
| 工場生活    | 寫眞 | 二七葉 |
| 其他      | 寫眞 | 九葉  |
| 圖表      |    | 三枚  |
| 事業概要    |    |     |





朝

鮮

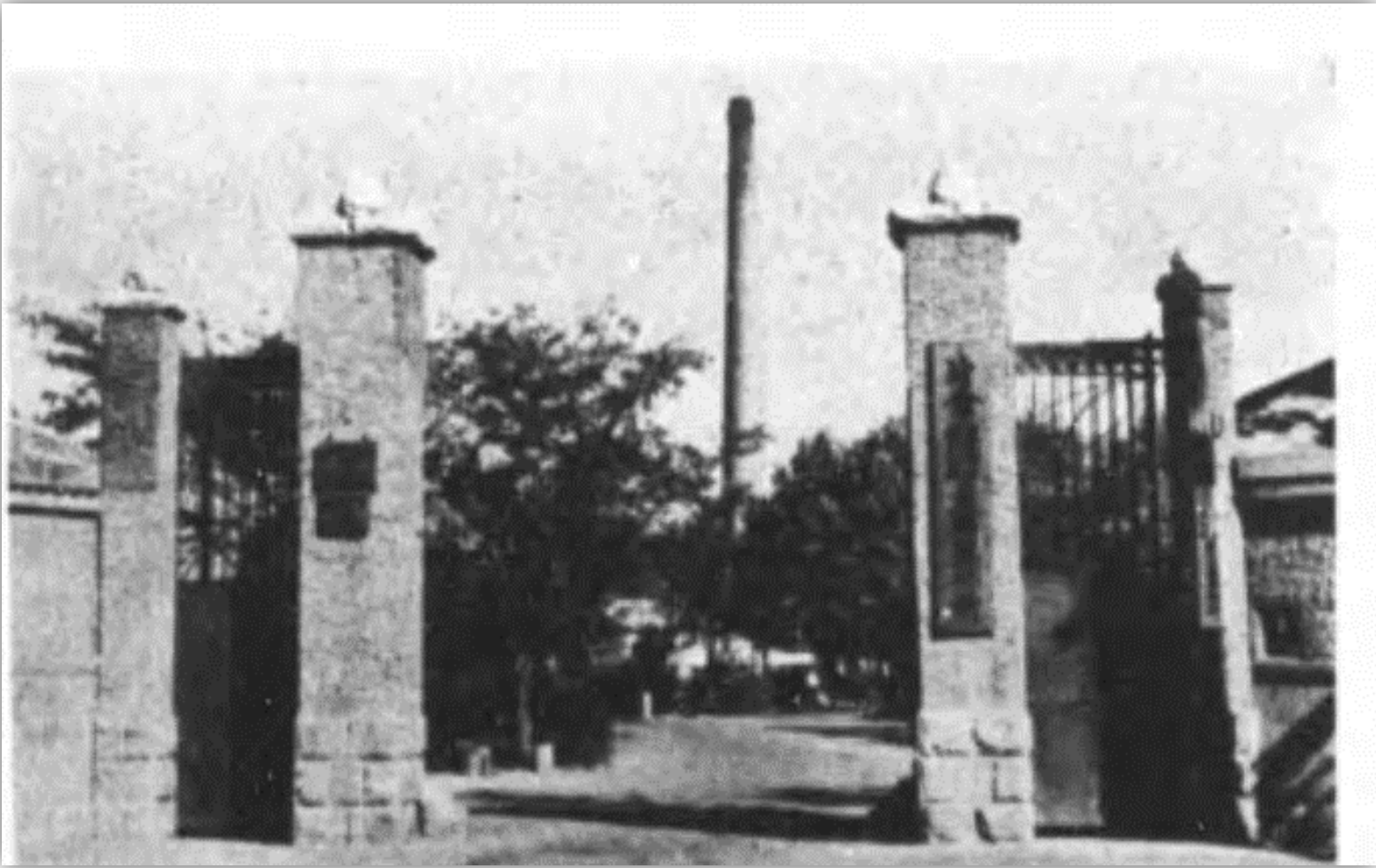
我社の製絲工場



## 大邱製絲所

朝鮮大邱府大鳳町

當所は大正八年四月の創立にして我社朝鮮に於ける製絲工場設置の先驅である。創業當初は繰絲釜數三六〇、中原式煮繭機を用ひた。其の後漸次規模を擴大したが昭和十年御法川式を設置し現在は同機三四〇臺、普通繰絲機一二〇釜を以て操業して居る。

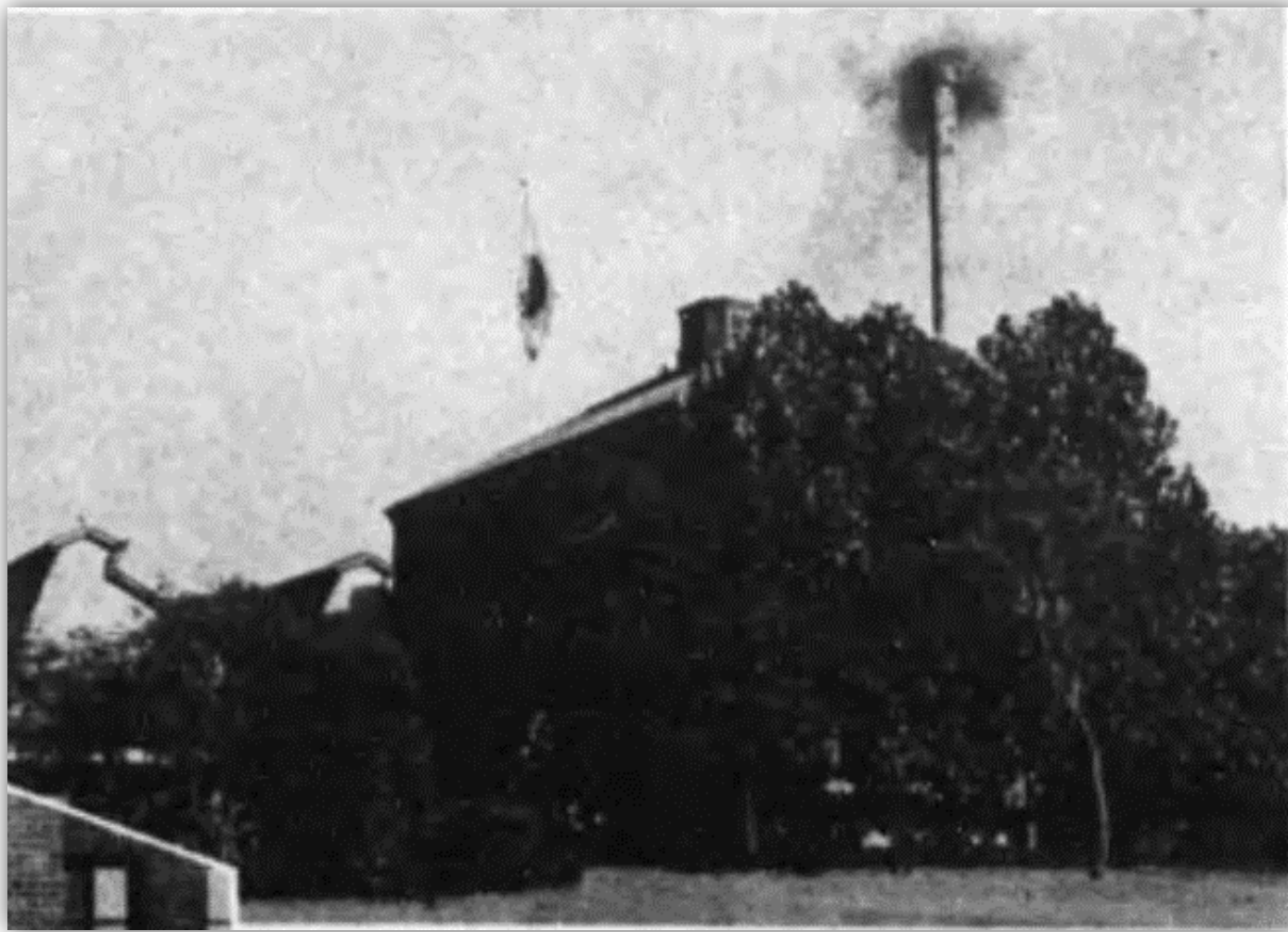




## 京城製絲所

朝鮮京城府杏村町

當所は明治四十五年六月伯爵宋秉峻の創立に係り朝鮮器械製絲の濫觴をなし大正四年七月京畿道營に移管され恩賜授産京城製絲場と改稱された。其の後當局の勸奨により昭和二年四月我社に於て之を買收し同年七月普通繰絲機一二釜を以て開業した。其の後逐次設備の改善を行ひ現在御法川式二四〇臺を以て操業して居る。



## 全州製絲所

朝鮮全州府相生町

昭和二年七月全羅北道の産繭二拾餘萬貫を消化する爲道當局及道有志の熱心なる製絲工場設置懇請に應じて數地の提供を受け翌三年一月工場を新設したものである。工場の建物は勿論寄宿舎其の他總て模範的設計に成り當時は業界の偉觀と稱された。現在五緒繰、普通繰絲機二四〇釜の設備である。





## 咸興製絲所

朝鮮咸興府曙町

大正十三年總督府に於て蠶業振興計畫實施以來咸鏡南道に於ける產繭額は著しく増加し製絲工場設置の要望頓に高まり當局の勸説により昭和三年我社は咸興製絲所を設置した。繰絲機は當時最新式の設備たる御法川式A型二九六臺を据付け同年十月八日開業した。

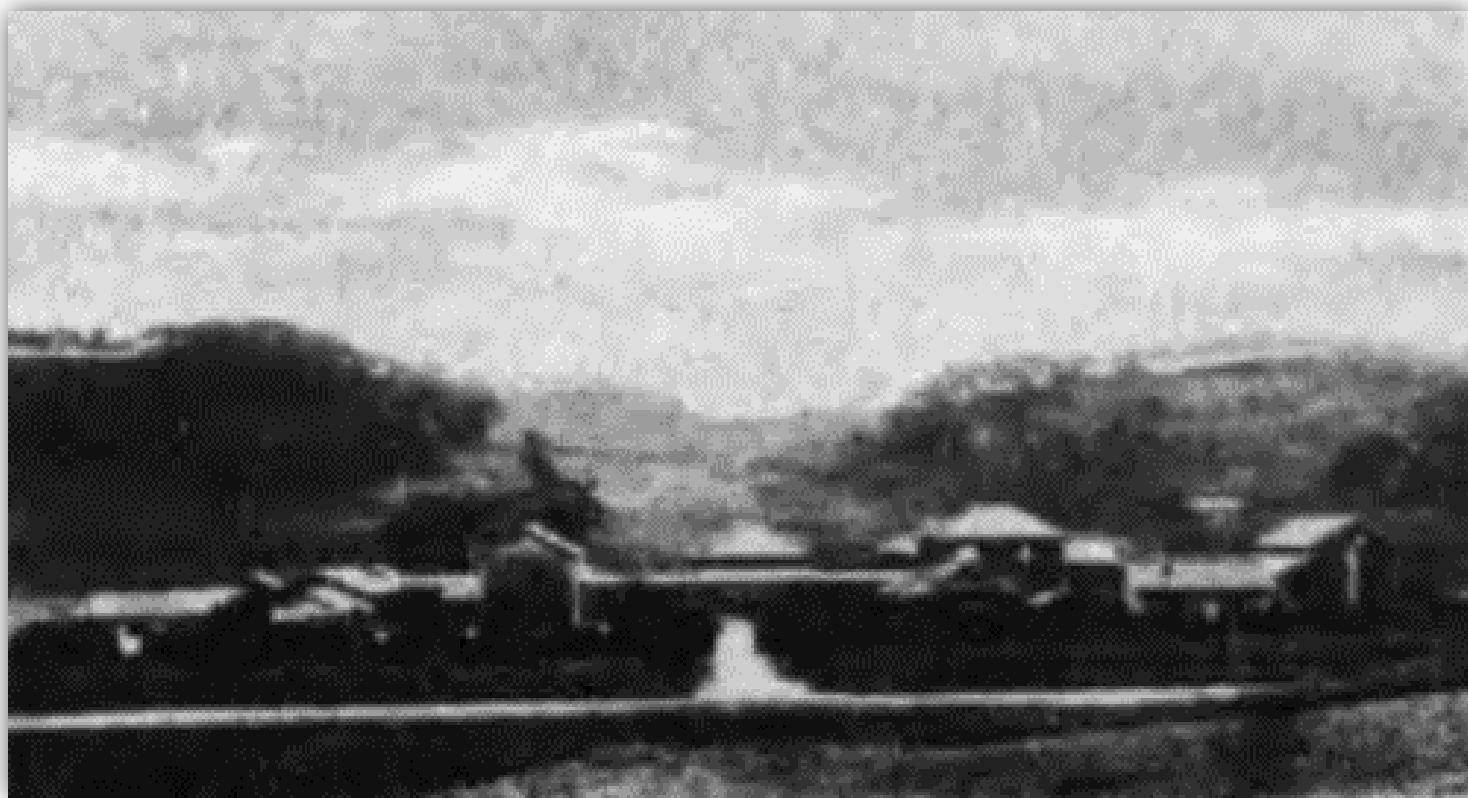


# 蠶種製造所

永興蠶種製造所

咸鏡南道永興郡洪仁面

北鮮農蠶株式會社を買收昭和四年十二月開所年製造  
高三〇萬瓦。





龍仁蠶種製造所

京畿道龍仁郡內四面陽智里

昭和五年四月開所



## 裡里蠶種製造所

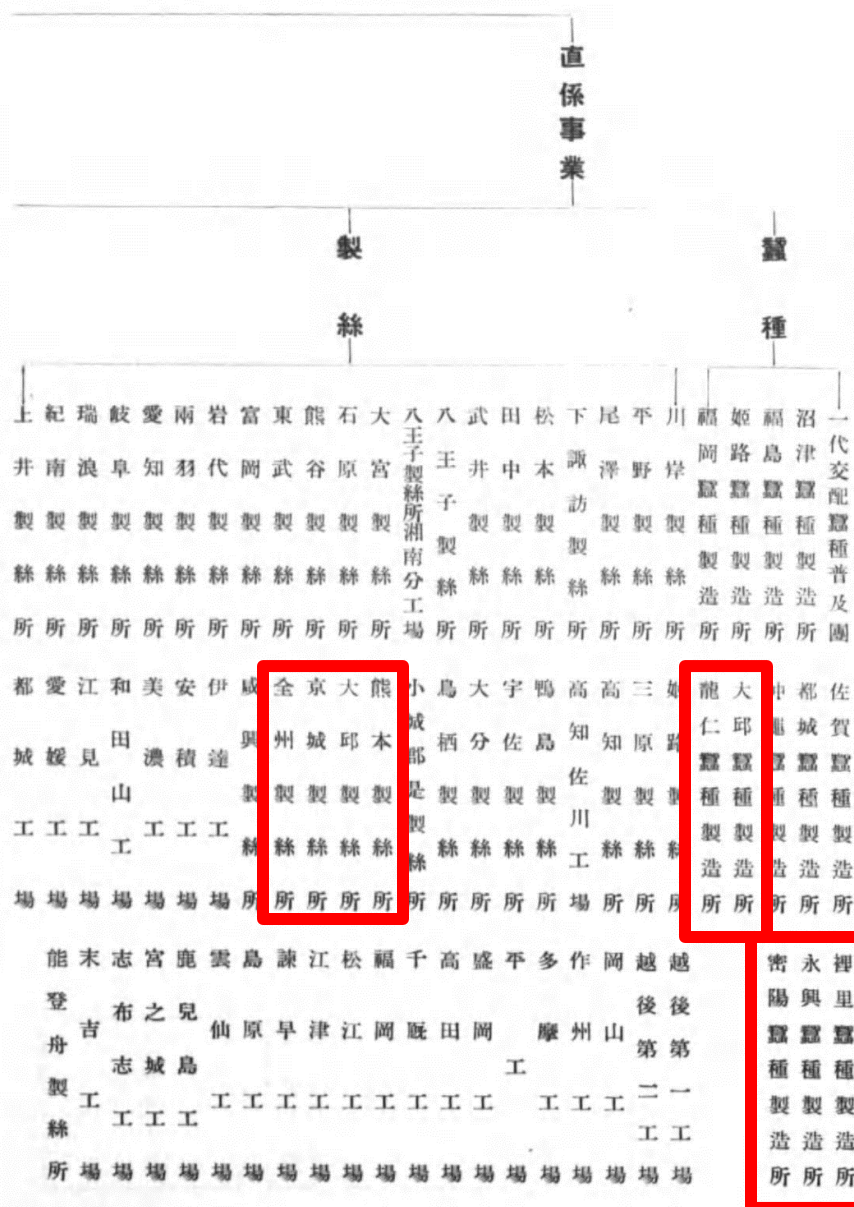
全羅北道益山郡裡里邑

昭和十二年三月楠田精一經營の事業を買収す。





片 倉 製 絲 紡



二、當社の事業組織



# 1914年

『東京大正博覧会出品目録』





1E-4W-36

東京大正博覽會



出品目錄



東京大正博覽會出品目錄

大正  
3. 7. 23  
内交

東京大正博覽會事務局特別許可

ジ、シー、ピヤマン編纂

朝鮮館

紙及紙製品

朝鮮製紙會社 菊印印刷用紙(青黄赤  
藤色) 霞口紙、四六判印刷用紙地券判  
藤色ボール判、窓戶紙朝鮮紙  
賀屋 由雄 鼠色封筒用紙、帶封用紙、襖  
下張受紙  
鄭斗煥 大角油紙、中角油紙、小  
小角油紙、京大壯角紙、大壯角紙  
三三 丹角紙、貼油紙、香文紙、苔紙  
四三 扇子紙、大壯紙、龍扇紙、  
書厚紙  
李 忠清南道 連山  
李 住 鎬大張紙 全州  
李 正 漢溫突紙 全州  
崔 溶 默中龍紙、小龍紙、胡尺紙、溫  
突紙  
林 溶 周淳昌 壯板紙、苦壯紙、  
壯紙、苦粉紙、扇子  
金 性 珪 全州 團扇(芭蕉)、團扇(太  
極)、胡尺白紙、山内白紙、清風白  
紙、三貼紙、朝鮮俗耕織圖毛筆畫、窓

戶紙、粉白紙、別白紙、書院紙、牛紙  
忠清北道 清風  
金 光 錫朝鮮紙、防風紙  
金 榮 錫朝鮮紙、四庫紙  
金 禹 錫朝鮮紙、小戶紙  
丁 學 校朝鮮紙、五庫紙  
金 昌 賢 扇子穿短節、團扇  
永昌興業會社 淳昌 扇子、團扇  
李 正 漢 全州 胡尺紙、竹臺紙、大龍紙  
全羅南道 紙及紙製品  
奇 宇 采長城、周紙、角壯紙、窓紙  
鞠 仁 德潭閣、扇子、鄭容駿、團扇  
慶尙北道 紙及紙製品  
慶州郡  
校里共同製紙工場 美人紙、崔漫、窓戶紙  
白紙  
金 成 大 溫突紙  
授産者共同製紙場 長智郡 半紙、美濃紙  
實物紙  
崔 源 榮 清河郡 窓戶紙、大冊紙  
金 瑛 憲 盈德郡 李萬雨、厚紙  
李 景 春 眞寶郡 厚白紙  
慶尙南道 紙及紙製品  
鄭 昌 庸 草溪 朝鮮窓戶紙

金 段 鎬山 見樓紙  
申 景 禧 宜寧 見樓紙、白紙  
朝日 淺平 三嘉 牛紙白紙、美濃白紙  
李 民 僊 諫川 冊白紙、見樓紙  
朴 準 宣谷城 上白紙、中白紙、下白紙  
忠清北道 蓮席類  
卞 南 圭 清州 莞席  
權 榮 奎 鐵川 莞席  
金 相 榮 臨波 莞席類  
全羅南道 蓮席  
林 鍾 洛 昌平 莞席  
慶尙北道  
金 進 玉 義興郡 白紋席  
趙 性 旭 同 同  
趙 性 烈 義興郡 同  
金 晃 客 善山郡 莞席  
徐 正 斗 高靈郡 莞席  
崔 忠 吉 州 莞席  
李 源 植 信川郡 莞草蓮



京畿道 釀造及飲食物  
 平賀 平助 日本酒、清酒不老  
 若狹順之助 日本酒  
 三巴酒造場 京城 無酒三巴正宗、古酒三  
 巴正宗  
 難波與太郎 京城 日本酒、酒正宗  
 大西文三郎 京城 金札虎印純真葡萄酒、  
 銀札虎印同  
 宅合名會社支店 仁川 清酒梅光武印  
 吉金喜三郎 仁川 清酒双喜正宗  
 高野周三郎 仁川 清酒日高  
 京畿道  
 京城 釀造  
 金 學 淳 牛馬靴一足六・六 短靴一足六  
 一・六 編上靴一足七・六 洋鞋本スリッパ  
 一足五・六  
 小林 良 善 善形編上靴一足八・六 一枚深  
 護誤六・六 同上六・六 善形牛靴一足  
 五・五  
 趙 奎 一 牛馬二足一足二付六・六  
 徐 明 九 編上靴一足七・六 牛馬同六・六  
 慎 允 範 變形一足六・六 牛馬一足六・六  
 朴 相 裕 牛馬七・六 變形六・六  
 林 相 浩 牛馬七・六 同上六・六

北村靴店機部界吉 牛馬六・六 同上七・六  
 一枚甲八・六 中深一・六・六  
 京城織組株式會社 京城 金華帶五正・六  
 參結帶、袖升任、正升任、美人襟升任  
 袖色宮、袖袂、袖參結帶  
 萬宅 淳 京城 色帶子  
 井上 テル 京城 古唐緒、七子緒、木天  
 緒、御殿緒  
 桑原 飯 京城 野野腰卷(友仙モスリ  
 シ) 裾野腰卷(イタリヤナル)  
 鄭 寅 京城 雪腰中折帽子三・六、  
 駿雪米利聖帽子三・六、雪腰單帽子三・  
 三、黑綾腰草匣二・六  
 豐臣 卯六 京城 化粧用ワイムリ一浮石  
 酸、洗濯用黃色石酸  
 渡邊 文治 京城 洗曹達、三千木膠、晒  
 膠、蒸製骨粉、乾血、蹄角粉、透明石  
 酸、浮石酸、一號化粧石酸、二號朝鮮  
 人向化粧石酸、三號同上  
 戶田 春藏 京城 人力車一組四・六 改良  
 耕起萬能、改良先細萬能、備中鐵、新  
 案型六・六 作鐵、ホミ、改良押切  
 朝鮮飲業協會 京城 バテン五種、ピアノ  
 掛一點六・六 バテン長方形机掛一點七・

八四六  
 〇〇 刺繡布九机掛一點二・六  
 豐染津御行李製造所 果川 柳行李靴三ツ  
 組二・六 同上(長尺三ツ組)九・六  
 エム兄弟寫真館 京城 寫真三四枚一枚・  
 〇〇  
 秋吉富太郎 京城 桐  
 忠清南道 鍾 品  
 大熊 慶作 溫陽 橫山式邊細工1234  
 朝鮮興業株式會社大田管理所 大田 同會  
 社八基農場經營方法及成績一冊  
 鮮南石原製鐵所 大田 石炭一瓶  
 永昌興業合資會社 淳昌 黑靴男子用一足  
 三・三 同上女子用一足二・六 太士靴女  
 子用一足二・六  
 藤本合資會社農場 益山 農事經營成績  
 全羅南道  
 高田時太郎 光州 下駄一足三・三 同  
 同六・六  
 木浦信興鐵工株式會社 木浦 三又鐵、鋤  
 木浦鐵工合名會社 木浦 草取、丸鐵、鋤  
 白翠 雲海南 椿油一升一・六  
 慶尙北道  
 朝國製合資會社 大邱府 莖草製草履八  
 種

小鐵房次郎 安東郡 洋服夏服一着三・三  
 十河彌三郎 長鬲郡 蟹刺網模型  
 新田 源吉 延日郡 鯨刺網模型  
 梅本庄太郎 興海郡 鯨刺網模型  
 李 驥 雨 同 鯨刺網三・三  
 金 洛 中 順興郡 筆筒二個一個五・〇  
 岩 瀨 靜 大邱郡 高麗パナマ帽子三個  
 二・〇〇 一・〇〇  
 慶尙南道  
 大山合名會社 釜山 コール天足袋、真岡  
 足袋、足袋瓦斯首、首足袋、本場首足  
 袋、真岡足袋、細コール天足袋、糸裏  
 地下足袋、地下足袋、皮裏地下足袋、  
 金巾足袋、紺金巾足袋  
 統營製網株式會社 龍南 漁網  
 爲房 利八 密陽 薄荷油  
 產陽郡畜產組合 產陽 畜產經營及成績書  
 一冊、種牛配置圖一軸、畜產品評會寫  
 真五枚  
 朝鮮水產組合 釜山 移住漁村寫真九枚入  
 額面及同上、覽表額面、同上調查書一  
 冊  
 平安南道  
 金 錫 華 安州 百祥樓詩一枚六・三 朱  
 子詩一枚六・三 同前同二・六 同 同六・

鐘鼎同六・〇  
 加茂 清吉 平壤 ビューヤ石酸六本六・六  
 平安北道  
 義州公立普通學校 義州 炸蠶絲足袋一  
 足六・六 炸蠶糸細糸混編靴足袋一足・  
 三 鬆根掛布二枚四・六  
 正木清次郎 義州 男柳下駄一足、男紅松  
 下駄一足、女同 同 同  
 黃海道  
 趙 基 溇海州郡 海墨二・〇  
 全羅南道  
 飯塚卯八郎 濟州 組製貝鈕二種  
 恩賜授產事業成績品  
 京城道  
 京城恩賜授產場 京城 繭一升一・六 生絲  
 二拾一八・〇 炸蠶絲二拾一八・〇 角真綿二  
 五九・六 明羅一反六・六  
 金谷恩賜授產場 楊州 繭(春蠶又昔)  
 陽智恩賜授產場 陽智郡 繭(春蠶又昔)  
 忠清北道  
 恩賜授產場 傳習所 綾織一反一・六 生木  
 綿一反一・六 白綾絹一反四・〇  
 全羅北道  
 恩賜授產場 傳習所 錦山郡 生絲一八九・八  
 同 前 南原郡 春蠶繭又昔一升一・六 秋

豐齒青熱一升一・六  
 同 前 臨陵郡 秋蠶繭一升一・六  
 全羅南道  
 恩賜授產場 傳習所 具興春繭(又昔)  
 同 前 長城 繭(又昔)  
 同 前 靈光 繭(又昔)  
 同 前 光州 生絲三六九・三・六  
 大靜莊義興郡共同臨時恩賜授產事業傳習  
 所 大靜 目刺蠶  
 木浦府豐齒傳習所 木浦 繭  
 莞島長興二郡共同海產改良製造傳習所  
 莞島 乾海苔三種  
 光陽郡海產改良製造傳習所 光陽 乾紫海  
 苔五十枚一・六 慶尙北道(紙及紙製品)  
 恩  
 慶州郡製紙傳習所 慶州郡 改良朝鮮紙、  
 改良障子紙  
 盈德郡製紙傳習所 盈德郡 美濃紙、牛切  
 紙、半紙  
 英陽郡製紙傳習所 英陽郡 改良美濃紙、  
 英陽紙  
 慶尙北道(織物)恩  
 大邱製紙傳習所 大邱府 變化綾織一・六  
 綾織一・六 兩色木綿一・〇  
 比安郡製紙傳習所 比安郡 綾織一・六 變  
 八四七

化 變化斜文織  
 星州製業傳習所 星州郡 瓦斯編綾織一・六  
 善山郡製業傳習所 善山郡 絹織交織織一  
 反一七・〇 シルクント白無地綾織、シル  
 クット兩色綾織  
 尙州郡製業傳習所 尙州郡 双子織、壁袖  
 明袖  
 慶尙北道(繭及生絲)恩  
 奉化養蠶傳習所 奉化郡 繭(春蠶又昔)  
 安東養蠶傳習所 安東郡 同(同)  
 金泉養蠶傳習所 金泉郡 同(同)  
 清道養蠶傳習所 清道郡 同(同)  
 善山養蠶傳習所 善山郡 同(同)  
 慶州養蠶傳習所 慶州郡 同(春蠶青照)  
 義城養蠶傳習所 義州郡 同(春蠶又昔)  
 義安養蠶傳習所 義安郡 同(同)  
 禮安養蠶傳習所 禮安郡 同(春蠶青熱)  
 尙州養蠶傳習所 尙州郡 同(春蠶又昔)  
 同 同(同)  
 咸昌養蠶傳習所 咸昌郡 同(春蠶、  
 青熱) 同(秋蠶白龍)  
 平安南道(恩賜授產事業成績品)  
 女子養蠶機業傳習所 平壤 白木綿一正  
 (非賣) 生木綿(非賣) 絹織交織(非

賣) 改良袖(非賣) 柳條縮(非賣)  
 恩賜機業傳習所 龍岡 龍岡木綿二反一・六  
 養蠶機業傳習所 德川 節羽二重(非)一反  
 木綿一反(非)  
 女子養蠶機業傳習所 平壤 生絲(非)  
 成鏡南道(恩賜授產事業成績品)  
 恩賜授產北青女子養蠶傳習所 北青 繭一  
 升一・六  
 恩賜授產成興女子養蠶傳習所 成興 春蠶  
 繭一升一・六  
 恩賜授產長津種苗圃 長津 燕麥クラノデ  
 スター四升四・六  
 恩賜安邊種苗圃 安邊 安邊大豆オキル  
 コン、同鷄子一在米種粟  
 成鏡北青(恩賜授產事業)  
 成鏡北道養蠶傳習所 鏡城郡 繭(小石丸)  
 一升一・六  
 鏡城女子養蠶傳習所 鏡城郡 生絲二拾一・  
 〇  
 平安北道(恩賜事業)  
 義州府種苗場 義州 大豆(端川)、同(平  
 壤) 栗(白祥)、蜀黍、蜂蜜一合  
 江界種苗場 江界 玉蜀黍(奉天)  
 渭原種苗場 渭原 同(在米紅種)  
 碧潭種苗場 碧潭 同(小岩井)

八四八  
 繭、生絲  
 京城道 繭及生絲  
 大成社養蠶傳習部 京城 朝鮮在來生糸  
 韓 姬 命 京城 座標生絲  
 田中吉太郎 仁川 座標生絲  
 南相 顯 廣州 春蠶繭(又昔)  
 安 鍾 煥 廣州 春蠶繭(又昔)  
 宋 鍾 憲 陽智 同 (又昔)  
 李 達 同 同 (又昔)  
 忠清北道(繭及生絲)  
 朴 鍾 烈 清州 春蠶繭  
 朴 鍾 淑 清州 同  
 忠清南道 繭及生絲  
 鴻山產蠶傳習所 鴻山 春蠶繭(小石丸)  
 天安產蠶傳習所 天安 同 上  
 供州同 供州 同 (又昔)  
 金 俊 泳 供州 同  
 小 平 又 左衛門 大田 生絲  
 柳 福 永 公州 同  
 全羅南道 繭及生絲  
 姜 世 弘 羅州 秋蠶繭  
 林 仁 宅 同 同  
 會寧而雅蠶共同飼育所 具興 繭(又昔)



宜厚根長興 蘭(又音)  
金禾沃同 蘭(又音)  
崔赫 漳寶城 蘭(又音)  
慶尙北道 蘭及生絲  
慶尙北道蠶業講習所 大邱府 蘭(又音)  
大邱公立農業學校 蘭(又音)  
秦道 鎮成昌郡 蘭(音熟)  
金東哲 聞慶郡 蘭(又音)  
金寅星同 蘭(又音)  
錢敬模同 蘭(又音)  
金在鍊同 蘭(又音)  
朴商鉉同 蘭(又音)  
慶尙北道蠶業講習所 大邱府 蠶絹  
慶尙南道 蘭及生絲  
居昌蠶業講習所長章致瑞居昌 蘭(秋蠶)  
戶田德次郎 密陽 蘭(春蠶又音)  
大崎壽太郎同 蘭同)  
杉壽治同 蘭同)  
三泓津蠶業講習所 同 生絲捻二(四六又)  
二五三  
章致瑞 居昌 生絲捻二(四六又)三  
安義蠶業講習所金兼先 安義 蘭(又音)  
同 同 生絲捻二(六)  
平安南道 蘭及生絲  
朝鮮農會鎮南浦支會 鎮南浦 春蠶 蘭(小

石丸 生絲小石丸  
金明 涉順川 繭(又普)  
金品 夏順川 繭(又普)  
朴相俊 順川 繭(又普)  
田昌俊 南壤 繭(又普)  
韓仁 根江東 繭(小石丸)  
安圭 江原道 繭及生絲  
同原州 春蠶繭  
蠶業傳習所 鐵原 生絲絨三十二号  
成鏡南道 繭及生絲  
廣田爲兵衛 元山 生絲  
朴貞 愛永興 繭(又普)  
魯慎 周永興 繭(又普)  
韓國 瑞成興 繭(又普)  
下車書稚蠶共同會所 北青 繭(又普)  
全舜 懷永興 生絲  
成鏡南道蠶業講習所 感興 生絲  
平安北道 繭及生絲  
平北杆蠶株式會社 義州 四粒付杆蠶絲、  
六粒付杆蠶絲、八粒付杆蠶絲、杆蠶繭  
白一 孫義州 杆蠶繭  
安東 億義州 杆蠶繭  
朴泰 賢義州 杆蠶繭  
寧邊公立農業學校 寧邊 生絲、繭  
徐光 輪龍川 繭

|      |       |     |          |
|------|-------|-----|----------|
| 細川   | 力木    | 金川郡 | 春蠶繭      |
| 黃海道  | 繭及生絲  |     |          |
| 金南嶺道 | 繭及生絲  |     |          |
| 津寶城  | 繭(又音) |     |          |
| 林產   |       |     |          |
| 京畿道  | 林產物   |     |          |
| 小林   | 金重    | 果川  | 乾栗       |
| 金東   | 燐     | 楊川  | 栗        |
| 任天   | 雄     | 北道  | 同        |
| 忠清北道 | 林產物   |     |          |
| 朴老   | 赤沃川   | 棗   |          |
| 金享   | 植     | 青山  | 同        |
| 鄭謙   | 源     | 鎮川  | 胡桃       |
| 申稷   | 休     | 同   | 同        |
| 徐光   | 協     | 永春  | 榆木皮(製紙糊) |
| 趙昌   | 同     | 同   | (同)      |
| 金鍾   | 源     | 同   | アバマキ木栓   |
| 宋東   | 洙     | 黃洞  | 胡桃       |
| 忠清南道 | 林產物   |     |          |
| 趙榮   | 元     | 大興  | 五倍子      |
| 李廷   | 龜     | 德山  | 同        |
| 金世   | 煥     | 海美  | 同        |
| 尹正   | 淳     | 定山  | 同        |

八四九

八五〇

|      |      |          |
|------|------|----------|
| 梁壯   | 照公州  | 五倍子      |
| 樺本   | 安莞島  | 樺實       |
| 朴德   | 春海南  | 同        |
| 金鳳   | 全潭陽  | 桔梗根      |
| 西郡   | 武十濟州 | 干椎耳一斤・三  |
| 蘇田寬  | 大耶同  | 推耳椿木三本・三 |
| 樺丙   | 慶尙北道 | 林產物      |
| 朴正烈  | 宣豐基耶 | 乾柿       |
| 嚴柱浩  | 同    | 同        |
| 李聖求  | 聞慶郡  | 胡桃       |
| 朴東烈  | 同    | 同        |
| 朴聖模  | 慶尙南道 | 林產物      |
| 郭鉉   | 模山清渠 |          |
| 郭鉉   | 洛丹城同 |          |
| 重河東  | 同    |          |
| 樺欒   | 平安南道 | 林產物      |
| 朴洪   | 觀成川  | 成從渠      |
| 加茂清吉 | 平壤   | 平壤栗・玄武栗  |
| 皮炳烈  | 江東渠  |          |
| 孫敬文  | 同    |          |
| 江原道  | 同    | 林產物      |
| 金奉模  | 華川   | 槲皮       |
| 金明寅  | 春川   | 五倍子      |

|               |            |         |            |         |
|---------------|------------|---------|------------|---------|
| 富田            | 儀作         | 鎮南浦     | 三和         | 高麗花瓶六、〇 |
| 寸鉢、急須、湯呑、ビール呑 | 平壤磁器製造株式會社 | 平壤      | 六寸鉢、五寸鉢    |         |
| 李勝            | 珪同         | 平安南道    | 陶器         |         |
| 千茂            | 洛開         | 慶熙      | 磁器(食器)     |         |
| 谷村            | 健藏         | 慶熙      | 茶器、酒燭德利、砂鉢 |         |
| 李雨            | 先同         | 同上      | 同          |         |
| 李斗            | 先同         | 同       | 酒器、食器      |         |
| 趙性            | 健同         | 同       | 酒器         |         |
| 沈能            | 樞          | 青松郡     | 磁器瓶        |         |
| 五ノ井           | 葉子鉢        | 朝鮮      | 向小食器、盃     |         |
| 安武            | 如件         | 全州      | 小花瓶、一輪花瓶、四 |         |
| 柳燭            | 駿          | 揚平      | 陶器二〇       |         |
| 京畿道           | 陶器         |         |            |         |
| 陶器磁器          |            |         |            |         |
| 朴致梧           | 長淵         | 柳皮      |            |         |
| 宋元            | 實松         | 禾冬柏     |            |         |
| 同林幹(同)        | 黃海道        | 林產物     |            |         |
| 咸鏡北道府         | シコタマツ      | 種子(參考品) |            |         |
| 咸鏡北道          | 林產物        |         |            |         |

同上三〇〇 同上二〇〇 三和高麗香爐  
一七〇 同上九〇 三和高麗菓子鉢八〇  
同上二〇 同上三〇 同上二〇 同上  
芋盆 三和高麗抹茶碗四〇 同上六〇  
三輪高麗一輪生芋 同上三〇 同上  
一〇〇

江原道 陶器

金 取 澤 淮陽陶土、陶器  
黃海道

金 奎 鉉 海州郡 香爐二〇 一輪瓶八  
點三〇 菓子皿一點〇〇 茶碗 茶瓶  
石器

忠清南道 石硯

李 鍾 大藍浦 梅花硯一點二〇 葡萄  
硯二〇 芭蕉硯二〇 蟠桃硯二〇 岳  
陽硯二〇

全羅南道 石器

金 京 連 海南花瓶一點二〇 蝦石細  
工瓷器一組二〇〇

慶尙南道 石器

崔 閔 吳機硯 墨各一五〇個七五  
江原道 石器

白 學 範 伊川 石器煙草盆一個二〇  
石器 藥罐一個二〇

咸鏡北道 石器

桑下 茂豐 城津 大理石白色、同上桃色  
**竹木製品**  
 金杜 洪雲峰 托鉢五重一組、三  
 上七重三三 同上十重一組三六  
 全羅南道  
 金正 文木浦 慶三本四三  
 潭陽工業傳習所 潭陽 筆立、卷煙草入、  
 狀差  
 鄭容 驗潭陽 柳  
 李圭 達 靈巖 眞桃二〇箇三、五〇  
 慶尚南道  
 朴貞淳 統營 食盤大角形、同上中角形、  
 同上小角形、同上大長方形、同上中長  
 方形、同上小長方形、銳鑲中形  
 龍南郡立統營工業傳習所 統營 筆筒一個  
 木孟棟一組  
 咸鏡北道  
 吳相 律會寧 柳細工甲盤及乙盤  
 金漢異 同 柳籠一點  
**金屬製品**  
 京畿道  
 甲泰和 京城神仙爐一個裝、三 花瓶  
 一個六、〇〇 酒瓶一個裝、〇〇

松井嘉郎 京城 チヤ形巻煙草 載、○  
笠形灰落二個、○  
尾根 協 京城 鑲銀大神仙爐 二、○ 同  
上小、○ 黃鐵彫刺瓶、○ 黃鐵彫刺  
草盒、○  
金敬 先 槐山 鎗器灰皿、鎗器漬物皿  
鎗器肉池  
全羅南道  
金敬 叔長城 神仙爐一點七、○  
慶尙北道  
金潤 瑞慶山郡 眞鍮製酒盃一點、○ 六  
慶尙南道  
金聲 逸馬山 草盒、竹巨里、灰板  
孫德元 晉州 湯器、燒酎盃、鍍子、  
燒酎盃、接七、匙、箸、大接、食器、  
蓋子  
李守 益馬山 煙管大及小  
平安北道  
李泰 珉寧邊 眞鍮鎗器(盒)、眞鍮鈴  
器(鉢)  
金泰 變寧邊 銀細工、煙草盆(非賣  
品)、○  
水產  
京畿道

[illegible]







東京大正博覧会における出品状況から抽出した蚕糸関係機関と個人一覧

|      |         |                |                                   |
|------|---------|----------------|-----------------------------------|
| 京畿道  | 京城      | 京城恩賜授産場        | 繭 1 升 0.45・生絲二捻 1.80              |
|      |         | 大成社蠶絲傳習部       | 朝鮮在來生糸                            |
|      |         | 個韓姫命           | 座繰生糸                              |
|      |         | 個李達卿           | 繭                                 |
|      | 廣州      | 個南相顯           | 繭（春蠶又昔）                           |
|      |         | 個安鍾煥           | 繭（春蠶又昔）                           |
|      | 楊州      | 金谷恩賜授産場        | 繭（春蠶又昔）                           |
|      | 陽智郡     | 陽智恩賜授産場        | 繭（春蠶又昔）                           |
|      |         | 個宋鍾憲           | 繭（春蠶又昔）                           |
|      |         | 個李◇            | 繭（春蠶又昔）                           |
|      | 錦山郡     | 恩賜授産講習所        | 生絲 18 匁 1.08                      |
|      | 南原郡     | 恩賜授産講習所        | 繭（春蠶又昔） 1 升 0.45・繭（秋蠶青熟） 1 升 0.40 |
| 臨陂郡  | 恩賜授産講習所 | 繭（秋蠶） 1 升 0.40 |                                   |
| 忠清北道 | 清州      | 個朴鍾烈           | 繭（春蠶）                             |
|      |         | 個朴鍾淑           | 繭（春蠶）                             |
| 忠清南道 | 鴻山      | 鴻清産業傳習所        | 繭（春蠶小石丸）                          |
|      |         | 個金在玉           | 繭                                 |
|      |         |                |                                   |
|      | 天安      | 天安産業傳習所        | 繭（春蠶小石丸）                          |
|      | 供州      | 供州産業傳習所        | 繭（春蠶又昔）                           |
|      |         | 個金俊泳           | 繭                                 |
| 公州   | 個柳福永    | 生絲             |                                   |
| 全羅南道 | 長興      | 恩賜授産蠶業傳習所      | 繭（春蠶又昔）                           |
|      |         | 會寧面稚蠶共同飼育所     | 繭（又昔）                             |
|      |         | 個宣厚根           | 繭（又昔）                             |
|      |         | 個金禾沃           | 繭（又昔）                             |
|      | 長城      | 恩賜授産蠶業傳習所      | 繭（又昔）                             |
|      | 霞光      | 恩賜授産蠶業傳習所      | 繭（又昔）                             |
|      | 光州      | 恩賜授産蠶業傳習所      | 生絲 36 匁 2.16                      |
|      | 木浦      | 木浦府蠶業傳習所       | 繭                                 |
|      | 羅州      | 個姜世弘           | 繭（秋蠶）                             |
|      |         | 個林仁宅           | 繭（秋蠶）                             |
|      | 寶城      | 個崔赫淳           | 繭（又昔）                             |
|      |         | 個鶴赫淳           | 繭（又昔）                             |
| 慶尚北道 | 大邱府     | 慶尚北道蠶業講習所      | 繭（又昔）                             |
|      |         | 大邱公立農業學校       | 繭（又昔）                             |
|      | 奉化郡     | 奉化養蠶傳習所        | 繭（春蠶又昔）                           |
|      | 安東郡     | 安東養蠶傳習所        | 繭（春蠶又昔）                           |
|      | 金山郡     | 金泉養蠶傳習所        | 繭（春蠶又昔）                           |
|      | 清道郡     | 清道養蠶傳習所        | 繭（春蠶又昔）                           |
|      | 善山郡     | 善山養蠶傳習所        | 繭（春蠶又昔）                           |
|      | 慶州郡     | 慶州養蠶傳習所        | 繭（春蠶青熟）（春蠶又昔）                     |

|      |     |               |                      |
|------|-----|---------------|----------------------|
|      | 義州郡 | 義城養蠶傳習所       | 繭（春蠶又昔）              |
|      | 禮安郡 | 禮安養蠶傳習所       | 繭（春蠶又昔）              |
|      | 永安郡 | 永安養蠶傳習所       | 繭（春蠶青熟）              |
|      | 尚州郡 | 尚州養蠶傳習所       | 繭（春蠶又昔）              |
|      | 咸昌郡 | 咸昌養蠶傳習所       | 繭（春蠶又昔・春蠶青熟・秋蠶白龍）    |
|      |     | 個蔡道鎮          | 繭（青熟）                |
|      | 開慶郡 | 個金東哲          | 繭（又昔）                |
|      |     | 個金寅星          | 繭（又昔）                |
| 個錢敬模 |     | 繭（又昔）         |                      |
| 個金在鍊 |     | 繭（又昔）         |                      |
| 個朴商鉉 |     | 繭（又昔）         |                      |
| 慶尚南道 | 居昌  | 居昌蠶業傳習所長章致瑞   | 繭（秋蠶）・生絲捻二（46 匁）2.00 |
|      | 密陽  | 三浪津蠶業傳習所      | 生絲捻二（46 匁）2.53       |
|      | 安義  | 安義蠶業傳習所 金秉先   | 繭（又昔）・生絲捻 21.60      |
| 江原道  | 鐵原  | 蠶業傳習所         | 生絲捻二 32 匁            |
|      | 原州  | 個安圭回          | 繭（春蠶）                |
| 平安北道 | 義州  | 平北柞蠶株式會社      | 繭（柞蠶）・四粒付、六粒付、八粒付柞蠶絲 |
|      |     | 個白一孫          | 繭（柞蠶）                |
|      |     | 個安東億          | 繭（柞蠶）                |
|      |     | 個朴奉賢          | 繭（柞蠶）                |
|      | 寧邊  | 寧邊公立農業學校      | 繭・生糸                 |
|      | 龍川  | 個徐光綸          | 繭                    |
| 平安南道 | 平壤  | 女子養蠶機業講習所     | 繭（非）                 |
|      |     | 個田昌俊          | 繭（又昔）                |
|      | 鎮南浦 | 朝鮮農會鎮南浦支會     | 繭（春蠶小石丸）・生絲（小石丸）     |
|      | 順川  | 個金明涉          | 繭（又昔）                |
|      |     | 個金晶夏          | 繭（又昔）                |
|      |     | 個朴相俊          | 繭（又昔）                |
|      | 江東  | 個韓仁根          | 繭（小石丸）               |
| 咸鏡北道 | 鏡城郡 | 咸鏡北道蠶業傳習所     | 繭（小石丸）1 升 0.35       |
|      |     | 鐘城女子蠶業傳習所     | 生絲2 捻 1.00           |
| 咸鏡南道 | 北青  | 恩賜授産北青女子養蠶講習所 | 繭1 升 0.34            |
|      |     | 下車書稚蠶共同飼育所    | 繭（又昔）                |
|      | 咸興  | 恩賜授産咸興女子養蠶傳習所 | 繭（春蠶）1 升 0.35        |
|      |     | 咸鏡南道蠶業講習所     | 生絲                   |
|      |     | 個韓國璘          | 繭（又昔）                |
|      | 永興  | 個朴貞喼          | 繭（又昔）                |
|      |     | 個魯楨周          | 繭（又昔）                |
|      |     | 個全舜幃          | 生糸絲                  |

\* 1 表記上の揺れは、筆者が適宜統一した。  
\* 2 個人は、日本人は除く旧「大朝鮮国人」とし、氏名に個の記号を冠した。  
\* 3 固有名詞（旧地名・会社名・個人名・繭の種等）は旧字体のママとした。

